



釧路あすなろクラブ会報

2009年11月号

平成21年度年間テーマ 『釧路の今、そしてこれから』

平成21年11月 例会報告 【執行部担当例会】

題 目 『地域と大学』
講 師 釧路公立大学 学長 小磯 修二 様
開催日時 平成21年11月12日（木曜日）
開催場所 釧路キャッスルホテル 1階 海の間

出席者 第一部会7名 第二部会11名 第三部会6名 第四部会6名
合計出席者数 30名（会員数50名） 出席率 60%

◆会長挨拶◆

釧路も初雪が観測されまして、冬本番を迎えました。相変わらず新型インフルエンザの流行も続いておりますので、体調管理には充分お気を付けください。本日は釧路公立大学学長小磯修二先生より「地域と大学」と題しまして、ご講演いただきます。経営者として、大学が地域に与える効果を知り、経営に生かせるヒントになれば幸いです。



◆例会報告（小磯修二様による講演）◆

日本の地方都市はとても厳しい状況に置かれています。国の支援も少なくなり、地方の自立を考えることが必要な時代となりました。その中で、地域資源は観光や産業ばかりではなく、人財も重要なポイントです。地域資源の一つとして釧路公立大学についてお話したいと思います。

釧路公立大学の成り立ち

釧路公立大学は今から21年前に設立されました。当時国の施策として、各都道府県に医科大学を設置する計画があり、釧路市も名乗りをあげましたが各県に一校という条件に涙をのむことに。

そこで市立大学の設置を申請したところ、総務省より20万人規模の市町村では財政的に無理があるため不認可となりました。その後、検討を重ねた結果、釧路周辺の10市町村が地域連合を設立し、大学を運営するという全国初の試みに挑戦し、無事認可が下り開校に至りました。今までのように国の政策にただ従うのではなく自ら新方式を提案し、実現することができたという実績は釧路の潜在能力の高さを証明している一例だと思います。



公立大学の現況

私は学長の立場として全国の大学の学長とお話しする機会があります。そのなかで、どの大学も経営は厳しい状況と聞きます。少子高齢化は大学を経営して行くための重大な問題です。その中で、釧路公立大学は国、道、市からの予算交付を受けない独立採算で運営しています。このような環境で創立以来黒字経営を続けてる事を誇りに思っています。

大学の経済効果

学生の構成比率は、釧路管内から1割、釧路以外から9割です。総数1400人もの若者が在籍しているのは、20万弱の人口からすると、とても大きな財産だと思います。また特徴的なのはアルバイトをする学生が多いということです。これは貴重な労働力で有ると共に重要な消費者にもなっています。大学周辺には学生の生活のために、スーパー、書店、喫茶店、アパートなどが集積していることから判るように高い経済効果が得られていることが判ります。



研究について

日本は地方に対する政策展開はとてもぶれていきます。戦後は非常に手厚かったのに対し、現在はとても厳しい状況です。

10年前に釧路公立大学に来るきっかけは、当時の綿貫市長より大学が地域に積極的に関わってゆくための核となる「地域経済研究センター」を設立する構想を聞きまして、受諾したことによります。赴任して驚いたのは、センターとは名ばかりで、施設はなく、研究員も居らず、極めつきは、研究のための予算も無い事でした。このような状況ですが、逆転の発想で、外部人材を機動的に客員研究員として組み入れるルールを作りました。

研究センターが設立されて10年が経ちました。振り返ってみますと、これまで色々な地域の問題、あらゆる課題解決の研究を25ほど実施してきました。関わってきた研究員の人数はのべ236名になりますが、このうち釧路公立大学からの研究員は1割程度で、残りの9割は他の地域や海外からの客員研究員であります。共同研究に携わった研究員は地域の大きな財産となっており、急な研究課題があるときでも、釧路のためならと貴重な時間を割いて協力いただけます。このように必要なときだけ研究に関わってもらい、その方々の知識を有効に活用して行くことで、少ない予算ながら良い研究成果を生み出してきました。また研究費については、研究員自ら集めてくる方が、大学らしいスタイルだと思います。

数多くの研究の中で思い出に残るのが、道路公団の民営化による、高速道路建設中止問題でした。釧路市としてもこの問題に立ち向かうために「高速旅客のありかた」と題し、共同研究を開始。国会図書館から資料を取寄せ、道東道計画の生い立ちから、その重要性をレポートにまとめ国土交通省に提案しましたところ、このような提案型の陳情をする自治体は始めてで、その詳細な研究レポートに驚きを隠せなかったようです。この成果は、後の国の直轄事業として高速道路建設が復活したことでおわかりいただけると思います。

今後も中央に頼るばかりではなく、いろいろな問題を地方独自に研究し、その解決策を積極的に提案して行くことで、地方の発展が期待できると思います。

◆部会活動報告◆

第一部会 なし 第二部会 忘年会1 1月26日木曜日串石
第三部会 なし 第四部会 忘年会1 1月20日金曜日イオマンテ

◆事務局連絡◆

1. 新年度の1月総会は平成22年1月9日(土曜日)です。ご予約の確認をお願いします。
2. 総会の出欠&委任状は、往復はがきでお送りする予定ですので、期限厳守で投函をお願いします。
3. ホームページでは、カラーの会報、写真、過去の記念誌、会報などがご覧いただけます。
どうぞご利用ください。アドレスは <http://www.marukoo.com/as/>

どうぞご利用ください。アドレスは <http://www.marukoo.com/as/>

釧路あすなるクラブ

12月例会のご案内

・・・・・・12月例会・・・・・・

■例会内容■ 『忘年例会』



■開催場所■

釧路キャッスルホテル

釧路市大川町2-5

電話 0154-43-2111

■日 時■

平成 21 年 12月 5日(土曜日)

開始 午後 6時30分～

■出欠連絡■

締め切り 11月28日(金曜日)必着！

★出欠の有無に○を付け、各部長さんへFAXお願いします。

*準備の都合がありますので、早目の出欠連絡をお願いします。

氏 名

12月例会

出席

・

欠席

■各部長のFAX番号■

一部会	斉藤剛史	40-3142	二部会	関川孝輔	42-0318
三部会	高木俊一	44-6417	四部会	前 義幸	36-9340